

12月の掲示板より

「街にも山にも雪は降る—雪は天から送られた手紙—」

「街にも山にも雪は降る」

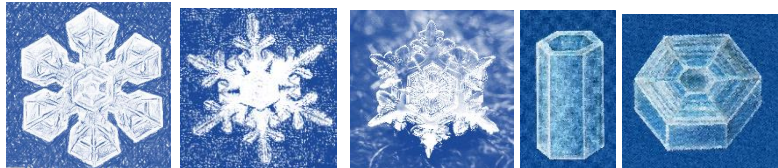
12月の掲示板「街にも山にも雪は降る」は、街でも山でも海でも、誰の上にも、世界中どこであっても、空でつながって、雪が降る条件によって、同じように雪は降ることを表しています。

山口誓子 (1901~1994) の俳句の「降る雪の空つづきにて海も降る」を思い出しました。

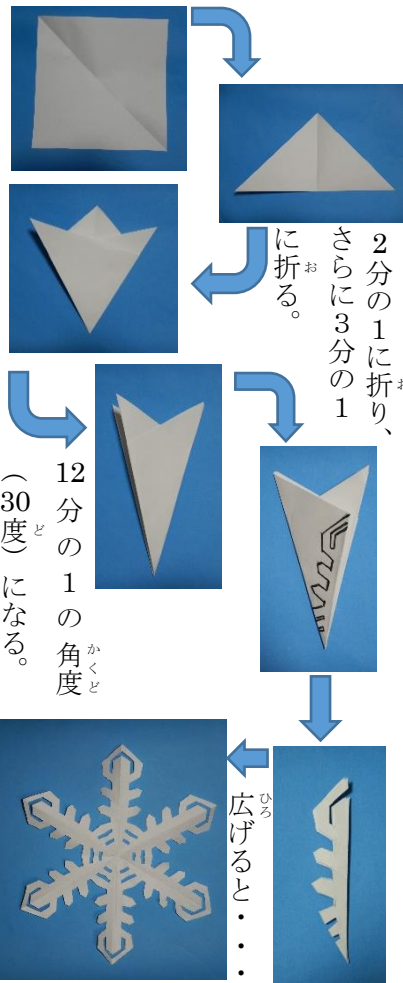
「雪は天から送られた手紙」

これは、日本の物理学者「中谷宇吉郎 (1900~1962)」の言葉です。雪の結晶は六角形の基本形からできていますが、人工的に雪をつくる実験によって、同じ形はないものの、温度と湿度によって似た傾向の形になることがわかったそうです。つまり、雪の結晶の形を見ることで、数千メートル上空の温度と湿度を知ることができます。中谷は研究成果から、「雪は天から送られた手紙である※」という言葉を残しました。中谷は物理学者ですが、実験を通してわかったことを、詩人のようなすてきな言葉で表現しています。

※「雪は天からの手紙—中谷宇吉郎エッセイ集」(岩波少年文庫) - 2002/6/18
中谷 宇吉郎 (著, イラスト), 池内 了 (編集)



【雪の結晶の形をつくらう】



「今月の和菓子」

※和菓子には季節を取り入れたものが多いです。他にどんな和菓子があるか、見つけてみましょう。

新宿門横の掲示板にあります。

令和2年12月 図画工作科 竹内ともし